

# 『関西のプロジェクトの動向調査』 成果報告

(2006 年版関西活性化白書)

財団法人関西社会経済研究所(会長:秋山喜久、所長:本間正明)では、関西の産業活性化推進への基礎資料として、「関西のプロジェクト動向調査」を19年前から継続実施しており、関西のプロジェクトを一覧できる資料として各方面から高い評価を受けております。

この度、文献調査及び全事業主体対象のアンケート調査をもとに、2005年12月末時点における関西(2府5県)のプロジェクトの実態を調査し、結果を関西活性化白書にとりまとめました。

本調査のうち、プロジェクトの件数、事業費の推移は関西経済の指標の一つとして活用されていますが、これに加えて、当該年の特徴、動向を整理するとともに、2006年2月に開港した神戸空港、都市・地域再生や構造改革特区などの主要な施策・事業の動向、および今回の関西活性化白書の特集テーマであります産学官連携の動きについても取りまとめ、関西におけるソフト・ハード両面におけるプロジェクト動向を網羅しました。

## ■関西活性化白書の目次

1. プロジェクトの件数・事業費の推移
2. 2005年の特徴・動向
3. 神戸空港開港～関西三空港時代に向けて
4. 主要な施策・事業の動向
5. 産学官連携事業の動き
6. 関西の主要プロジェクトのマップ・概要
7. 交通インフラの整備状況

## ■ポイント

### 1. プロジェクトの件数・事業費の推移

- ① 2005年12月末時点のプロジェクトの件数は573件、うち事業費判明分は293件で、総事業費は29.2兆円となり、2004年12月末時点に比べると、件数は15件の増加、事業費は1.2兆円の減少となった。
- ② 新規プロジェクトの件数は52件となっており、昨年とほぼ同水準となっている。そのうち事業費判明件数は28件で、平均事業費は187億円である。平均事業費は2004年(334億円)を下回るものの、2003年(135億円)に比べ伸びており、好調に推移している。
- ③ 9年連続で減少していたプロジェクト件数が増加に転じたこと、大型商業施設の出店が活発化したことなど、2005年には、景気回復持続の影響がプロジェクト動向にもはっきり表れている。また、少子高齢化という大きな趨勢が私立大学付属小学校の新設や都心部におけるマンションブームという形で出てきている。(今回調査の2つの特徴)

## 2. 2005年の特徴・動向

### ① 引き続き大型商業施設の進出、大阪都心でも競争激化

- ・ 大阪都心では、引き続き、キタ・ミナミの競争が激化。郊外部では、学研都市や神戸ポートアイランドなどで、家電・ホームセンター関連の大型商業施設の出店が活発化。
- ・ 事例：阪急百貨店梅田本店建替え、大丸梅田店新館建設、LABI1(ラビワン)なんばなんばパークス第2期、イケアジャパン大型家具店出店(神戸ポートピアランド跡地開発)等

### ② 積極化する大学の施設拡張・新規整備、私立大学付属小学校の新設

- ・ 少子化傾向に伴う大学全入時代に備えた、大学の施設拡張・新規整備が顕著。
- ・ 私立大学の小学校新設による小学校から大学までの一貫教育の動きが活発化。
- ・ 事例：関西大学高槻駅前新キャンパス、関西学院大学初等部設置構想 等

### ③ ベイエリア中心に物流・工場の立地進む。先端技術系の工場立地も

- ・ 景気の好調を受け、大阪ベイエリアの工場跡地や自社敷地をはじめとして物流施設や工場・研究所等の建設・新規進出傾向が顕著。
- ・ デジタル家電の好調や自治体の強力な企業立地優遇策の採用を背景に、先端技術系工場が増設。

### ④ 活発化する都市再生プロジェクト

- ・ 関西最後の大型都心開発である大阪駅北地区開発構想の動きが活発化。
- ・ 都市再生緊急整備地域に指定された都市再生プロジェクトである、JR鳳駅、神戸ポートアイランド西、JR高槻駅周辺などで相継いで施設の開発計画が具体化。

### ⑤ 引き続き大阪都心部におけるマンション建築開発ブーム、郊外も好調

- ・ 大阪都心部におけるマンション建築が活発。近畿2府4県のマンション発売戸数は、前年比3.8%増の3万3064戸。郊外の駅近くの好立地物件で2年連続の増加。
- ・ 大阪市は9,494戸と前年比0.1%減で微減であるが、神戸市が35.8%増の4,635戸、滋賀県が95.3%増の1,121戸と回復が顕著。

### ⑥ 住宅地は3年連続の下落幅縮小。商業地は15年ぶりの上昇(地価公示)

- ・ 住宅地は、引き続き下落しているものの3年連続で下落幅が縮小。大阪市中心6区ではすべての地点で上昇、京都市中心5区のほぼすべての地点が上昇・横ばい。阪神地域、郊外部のうち都心からの交通利便性が高い地域で上昇・横ばい。
- ・ 商業地は、1991年以来15年ぶりに上昇。大阪市中心6区のほぼすべての地点が上昇・横ばい、京都市中心5区のすべての地点が上昇・横ばい。

注) プロジェクトの定義：敷地面積1ha以上、総事業費が判明している場合には10億円以上の地域開発事業。ただし、国際的なイベントや博覧会などは含める。

(問い合わせ先)

**KISER** 財団法人 関西社会経済研究所  
Kansai Institute for Social and Economic Research

TEL : 06-6441-0145

FAX : 06-6441-5760

E-mail : kiser@kiser.or.jp

担当者：矢田隆浩 美谷寛

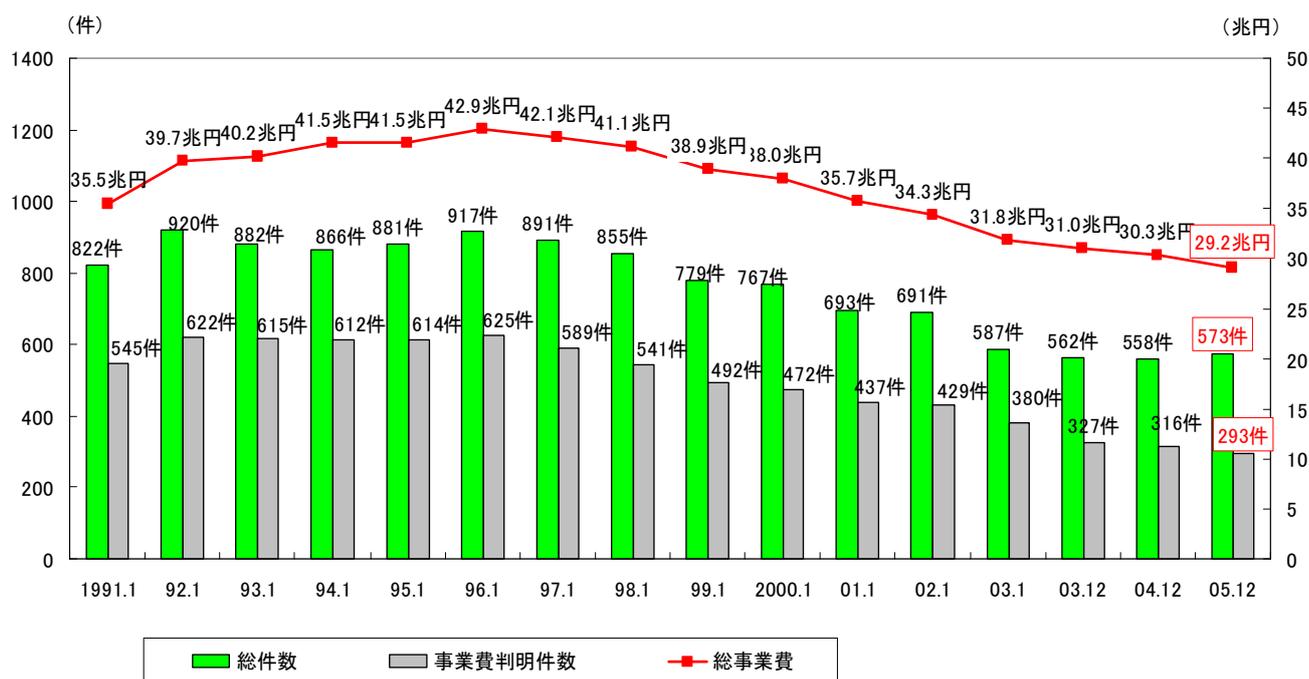
## プロジェクトの件数・事業費の推移

### 2005年12月末時点のプロジェクトの件数・総事業費

	2005年12月末時点	(参考) 2004年12月末時点
<b>プロジェクト件数</b>	<b>573件</b> (15件増加)	558件
うち事業費 判明件数	<b>293件</b> (23件減少)	316件
<b>総事業費</b>	<b>約29.2兆円</b> (約1.2兆円減少)	約30.3兆円

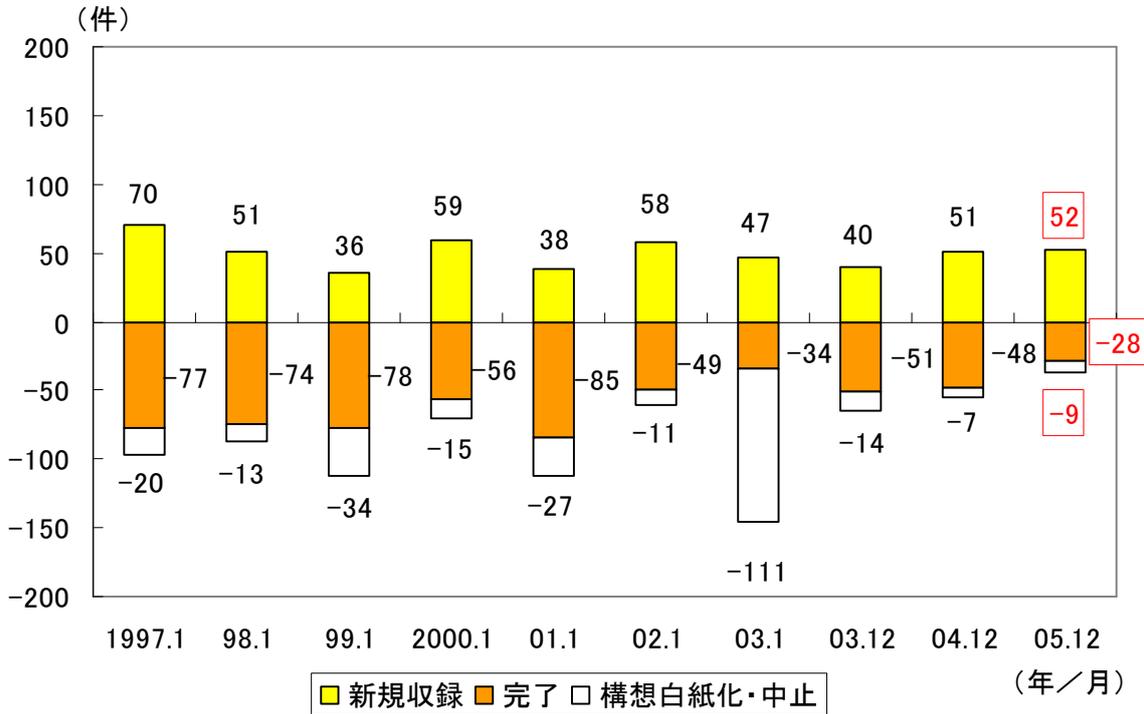
注：( ) は 2005 年 12 月時点での比較

### プロジェクトの件数・総事業費の推移

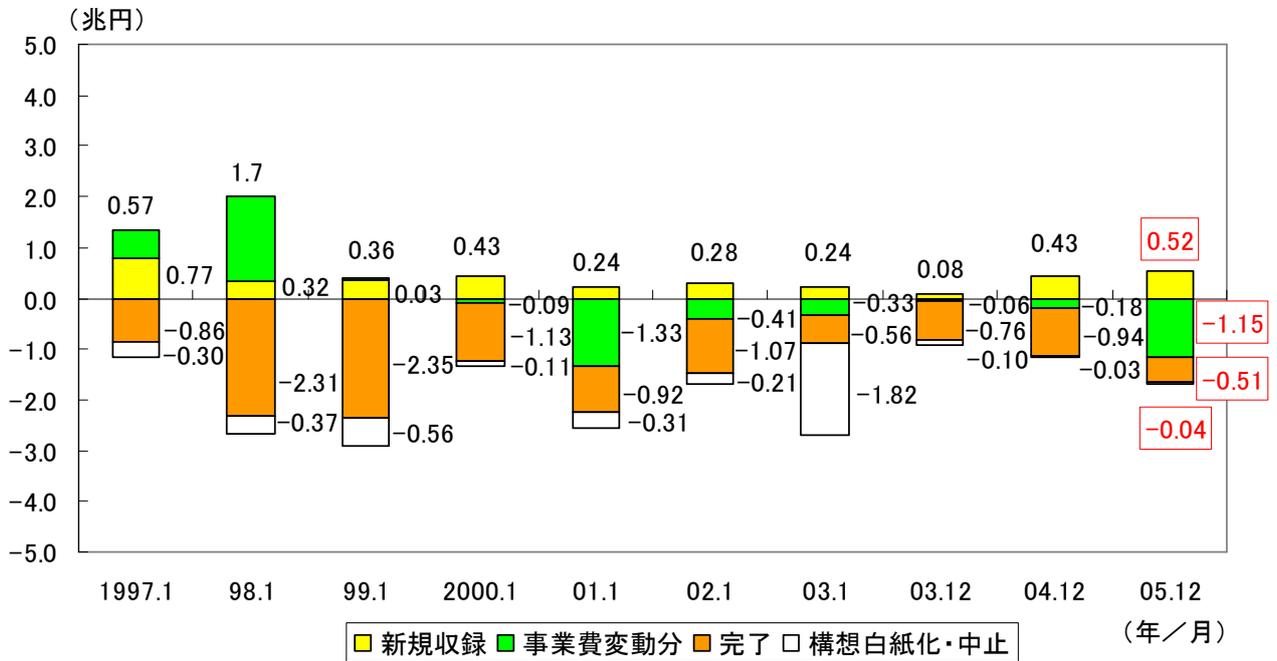


## 件数・事業費の推移（内訳）

件数推移の内訳（1997年1月～2005年12月）



事業費推移の内訳（1997年1月～2005年12月）



## 2005年のプロジェクトの動き

### 件数・総事業費の変動内訳

	件数の変動	事業費判明 件数の変動	事業費の変動 (兆円)
2004年12月末時点	558件	316件	30.3
(a) 新規収録(1~12末)	52件	28件	0.5
(b) 事業費変動分	—	-22件	-1.2
(c) 完了削除	-28件	-27件	-0.5
(d) 構想が白紙化され事業が中止となったもの	-9件	-2件	0.0
変動 合計	15件	-23件	-1.2
2004年12月末時点	573件	293件	29.2

### 新規収録した主なプロジェクト

プロジェクト名	事業費(億円)
フジテック 開発・生産拠点「BigWing」	100
京都精華大学キャンパス新整備計画	
旧京都簡易保険会館跡地開発(京都ノートルダム女子大学第二キャンパス)	
大丸梅田店新館建設	200
プロロジスパーク大阪Ⅱ	230
JR高槻駅北東地区市街地整備事業(関西大学高槻駅前新キャンパス)	100
イトーヨーカ堂「JR鳳駅南地域」大型複合施設出店	
神戸ポートピアランド跡地再開発・イケアジャパン大型家具店出店	
ユニカミルタオプト・TACフィルム新工場建設	100
東芝・キャン「次世代TV画面新工場」	1,800
「関西学院初等部」設置構想	
X線自由電子レーザー施設建設計画	375
プロロジスパーク尼崎	180

### 完了削除した主なプロジェクト

- ・京都迎賓館(仮称)建設 (※今回白書表紙)
- ・京セラ「京都綾部工場(仮称)建設計画」
- ・JR六甲道駅南地区再開発
- ・桜之宮中野地区整備事業(桜之宮リバーシティ)
- ・くずはモール再開発
- ・AMB 尼崎ディスプレイセンター建設

## 新規プロジェクトの推移

### 新規プロジェクトの推移(1993年1月~2005年12月)

